

2017年3月13日

特定非営利活動法人 DNDiJapan

(ディーエヌディーアイ ジャパン)

トークセッション

「アフリカ・スーダンとマイセトーマ(真菌性菌腫)を患う顧みられない患者さん」開催のご案内

主催：特定非営利活動法人 DNDi Japan

共催：認定 NPO 法人 難民を助ける会

後援：JICA 地球ひろば

マイセトーマ(真菌性菌腫-Mycetoma)は、アフリカ大陸(チャド、エチオピア、モーリタニア、スーダン - 特に広く蔓延、セネガル、ソマリア)、メキシコ、インド、イエメンなどの「マイセトーマベルト」という熱帯・亜熱帯地域(北緯 30 度から南緯 15 度の地帯)で、豪雨をもたらす短い雨季と暑くて乾燥した気候の地域に特有な疾患です。蔓延地域において貧困、偏見などの社会問題や経済的損失を引き起こす要因となっており、子供および若い成人、特に屋外で働く男性は最も高いリスクにさらされています。

重篤な感染症マイセトーマは 2016 年 5 月 23 日世界保健総会において WHO の「顧みられない熱帯病」公式リストに 18 番目の疾患として新たに追加されました。このたび日本の製薬企業であるエーザイ株式会社が創製した抗真菌剤ホスラブコナゾールによる臨床試験がスーダンのハルツーム大学菌腫研究センター(MRC)で開始されるにあたり、より皆さまにスーダンにおけるマイセトーマを患う顧みられない人々の現状と日本との関わりを知っていただき、ご理解いただくために、JICA 地球ひろばにおいてトークセッションを開催いたします。どうぞ奮ってご参加ください(無料)。併せて同時開催の写真展もご覧ください。

記

● 日時：2017年4月6日(木) 18:30~20:00

● 場所：JICA 会議室 600 (JICA 市ヶ谷ビル内 6 階セミナールーム)

同時開催写真展：4月4日(火)から4月17日(月) JICA 地球ひろば(JICA 市ヶ谷ビル内 2 階地球ひろば展示スペース) <https://www.jica.go.jp/hiroba/about/map/>

トークセッションプログラム

<基調講演>

● スーダンという国：マクロ的な観点から(政治・経済・国際社会における立場)

◇ 白戸圭一 (株式会社三井物産戦略研究所 国際情報部 中東・アフリカ室 主席研究員)

● 日本とスーダン：現況と JICA の取り組みから

◇ 近藤浩人 (独立行政法人 国際協力機構 アフリカ部 アフリカ第一課 調査役)

● WHO が 2016 年「顧みられない熱帯病」の 18 番目に新たに追加したマイセトーマ(真菌性菌腫)と DNDi の取り組み (約 6 分間のビデオ紹介とともに)

◇ 森岡 翠 (特定非営利活動法人 DNDi Japan プロジェクトサポートオフィサー)

● マイセトーマに罹患しないための教育等フィールド活動と現地の患者さんの声

◇ 梶野杏奈 (認定 NPO 法人 難民を助ける会 プログラム コーディネーター)

モデレーター：松本眞理 (特定非営利活動法人 DNDi Japan 広報部長)

<パネルディスカッション>

「スーダンの人々にとって今、最も必要とされること、そして私たちにできること」

以上

アフリカ・スーダンとマイセトーマ (真菌性菌腫) を患う顧みられない患者さん

DNDi

Drugs for Neglected Diseases initiative
顧みられない病気の創薬開発イニシアティブ

主催：特定非営利活動法人DNDi Japan

共催：認定NPO法人 難民を助ける会 / 後援：JICA地球ひろば (トークセッション)

マイセトーマ 真菌性菌腫 (eumycetoma)



最貧困層に見られる最も顧みられない病気

2016年にWHOの「顧みられない熱帯病」公式リストに
新たに追加された病気です



Copyright: Neil Brandford

写真展

日時：2017年4月4日(火) - 4月17日(月) 10時 - 20時

※土日祝日は18時まで

会場：JICA地球ひろば (JICA市ヶ谷ビル内) 2階展示スペース



Copyright: Abraham Ali / Image works

トークセッション

日時：2017年4月6日(木) 18時30分 - 20時

会場：JICA市ヶ谷ビル6F

セミナールーム600 (定員：約80名)

参加登録はこちらから (参加無料)：

<https://goo.gl/forms/smU4nAKSVPz3ntVx1>

もしくはDNDi Japan ウェブサイト「お知らせ」より

モデレーター：松本 真理 (特定非営利活動法人DNDi Japan 広報部長)

18:30~19:10：基調講演

1. スーダンという国：マクロ的な観点から政治・経済・国際社会における立場
白戸 圭一 (株式会社三井物産戦略研究所 国際情報部 中東・アフリカ室 主席研究員)
2. 日本とスーダン：現況とJICAの取り組み
近藤 浩人 (独立行政法人 国際協力機構 アフリカ部 アフリカ第一課 調査役)
3. マイセトーマ (真菌性菌腫) とDNDiの取り組み：ビデオによる紹介とともに
森岡 翠 (特定非営利活動法人DNDi Japan プロジェクトサポートオフィサー)
4. マイセトーマに罹患しないための教育等フィールド活動：現地の患者さんの声
梶野 杏奈 (認定NPO法人 難民を助ける会 プログラム コーディネーター)

19:10~19:40：パネルディスカッション

「スーダンの人々にとって今、最も必要とされること」「私たちにできること」

19:40~19:50：質疑応答など会場参加者との交流

19:50~20:00：まとめ・終了 会場地図：<https://www.jica.go.jp/hiroba/about/map/index.html>

皆さまのご参加をお待ちしております！！

特定非営利活動法人DNDi Japan Tel: 03-4550-1199 (代表) Email: info@dndijapan.org

DNDi Japan ウェブサイト www.dndijapan.org

【Drugs for Neglected Diseases *initiative*, DND*i* : 顧みられない病気の新薬開発イニシアティブについて】

1990年代後半、発展途上国の現場で医療活動に従事していた国境なき医師団のチームは、顧みられない病気に苦しむ患者を治療できないことに苛立ちを募らせていました。患者の治療に使用する医薬品の効果がなかったり、強い副作用があったり、あるいは製造中止になって使用できないなどの問題があったためです。そこで、国境なき医師団は、1999年に受賞したノーベル平和賞の賞金の一部を、患者のニーズを重視して、顧みられない病気に対する治療薬の研究開発(R&D)に取り組むための革新的な組織の設立に充てることに決定し、スイス・ジュネーブに本部を置く非営利財団として2003年7月に正式に発足しました。DND*i*はヨーロッパを中心とした多くの政府機関および私設財団から資金援助を受けて活動しています。2013年度からは日本政府も参画する公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金(GHIT Fund)による資金援助も受けています。また、WHO [の熱帯病医学特別研究訓練プログラム](#) (WHO-TDR) が常任オブザーバーとして参加しています。 www.dndi.org/

【DND*i* Japan について】

DND*i* Japan は、2003年に日本の活動を開始し、2009年に特定非営利活動法人として東京都の認証を受けました。顧みられない熱帯病(NTDs)に苦しむ途上国の人々を援助するために日本の窓口として、DND*i*本部のプロジェクトを支援し日本国内外の協力先と協働して、NTDs の治療薬開発、それに関連する能力開発、ならびに啓発活動など、発展途上国の人々の保健医療、福利厚生に貢献することを目的とした活動を行っています。 www.dndijapan.org/

お問い合わせ：広報担当 松本眞理(mmatsumoto@dndi.org/ TEL03-4550-1195)